

## 公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和2年6月22日

施設名	高知県立足摺海洋館	所管課	観光振興部 地域観光課
-----	-----------	-----	-------------

## 1 施設の概要

指定管理者名	(株)高知県観光開発公社	指定期間	平成31年4月1日～令和5年3月31日
施設所在地	高知県土佐清水市三崎字今芝4032		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可や許可の取消し等に関する業務</li> <li>・施設の利用料金の収受、減免、還付に関する業務</li> <li>・施設、設備等の維持管理に関する業務</li> <li>・海洋館の設置目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務</li> <li>・新館の開館準備に係る業務</li> <li>・その他、周辺観光施設との連携、周遊促進に関する業務</li> </ul>		
施設内容	<p>○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物構造：地下1階地上3階鉄筋コンクリート造</li> <li>・延床面積：2,435.31㎡</li> <li>・開館時間：4/1～8/31 午前8時から午後6時まで 9/1～3/31 午前9時から午後5時まで</li> <li>・休館日：12月の第3木曜日</li> <li>・入館料：(1回あたり)大人720円、小人360円 (年間パスポート)大人1,000円、小人500円</li> </ul> <p>※上記は全て旧足摺海洋館の情報(R2.3.1をもって閉館。新館の開館はR2.7.18)</p>		
職員体制	常勤職員：18人 契約職員：4人 合計22人		

※「職員数は令和2年4月1日現在」

## 2 収支の状況

単位：千円

		平成 年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(予算)
収入	県支出金		76,200	143,800
	使用料・手数料		16,456	74,497
	その他		727	0
	収入計 (a)		93,383	218,297
支出	事業費		1,921	6,200
	管理運営費		29,226	105,572
	人件費		49,241	69,625
	その他		11,595	36,900
	支出計 (b)		91,983	218,297
収支差額 (a)－(b)			1,400	0

指定管理期間が令和元年度からのため対象外

### 3 利用状況

	平成30年度(実績)	令和元年度(実績)	令和2年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	43,160	39,092	112,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・来館者が多いお正月の期間(R2.1.1~1.3)にアンケートを実施。 (アンケート回答数188件)		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 ・アンケート内容を職員間で共有するとともに、要望や苦情については管理運営面への反映を行っている。 ・地域別の来館者割合を分析し、プロモーション計画に反映させている。		
③その他特記事項	・旧足摺海洋館はR2.3.1をもって閉館。R2.7.18の新館開館に向けて、旧館からの魚類の引越等を実施中。		

### 4 令和元年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	・法令順守、利用料金の徴収に関する業務、施設・設備の維持管理等について、公の施設として適正な管理運営が行われている。
②利用者サービスの維持向上	・ベビーカーや車イスの無料貸出等、来館者にとって利用しやすい環境づくりに努めている。 ・外国人観光客受入研修に職員が参加するなど、受入環境の向上を図っている。
③利用実績	・旧足摺海洋館の閉館に伴い、特別展「さよなら、足摺海洋館」(R2.2.1~2.29)を実施するなど、誘客に努めたが、繁忙期の8月に台風の影響を受け、臨時休館日が発生したなどの結果、入館者数は前年比約98%(4月~2月の比較)の39,092人となった。
④収支の状況	・入館者数は前年を下回ったが、経費削減に努めるとともに、夏休み期間中に周辺の観光事業者等とも連携して新たなイベントを開催するなど集客に努めた結果、収入は当初の予想を上回り、令和元年度は約140万円の黒字となった。
総合評価	B ・協定書及び事業計画に基づき、管理運営業務が適正に実施されたと認められる。 ・入館者数は新館建設工事や夏場の台風等の影響もあり、対前年比で減少しているものの、経費削減に努めた結果、収支結果は当初計画を上回り黒字を確保している点は評価できる。 ・新館開館に向けての魚類の引越や収集を計画立てて実施するとともに、新館のプロモーションを積極的に実施し、新館開館後はアンケート結果をもとに新たな企画や改善を行っていくことで、入館者数の目標を達成すること。

#### 【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの